

高等部 年 職業学習コース 職業科 学習指導案

日 時 平成23年12月 日 9:50～11:10

場 所 教室

授業者 (T1) (T2)

(T3)

1 題材名 実習で「働く力」をパワーアップ！（現場実習事後学習）

2 目 標

- (1) 実習をもとに、自分の成長した点や課題を見付けて整理し、今後の「学校生活の目標」を設定する。(主：系列「目標設定」能力領域「意思決定能力」) (3)も同様
- (2) 「実習報告会」や「卒業に向けて！パワーアップ大作戦」の発表を通して、実習の目標の達成状況や成長した点を友達や教師に伝える。(主：系列「肯定的な自己評価」能力領域「意思決定能力」)
- (3) 学校生活の目標の達成に向けた手立てを話し合い、グループの意見から自分ができるようなものを選び、それを参考にして、決めた手立てを記入し、掲示する。

3 生徒と題材

(1) 生徒について

男子6名、女子2名の学習グループである。文字からの情報処理や聴覚認知などを苦手とする生徒がいる。これまでは自分の短所を意識するあまり、自信がもてず活動に消極的な生徒が多かった。しかし、実習の事前学習や友達の長所を見付ける学習などで、互いの良さを認め合う経験を積み重ねて、自分への自信がつき、自己の課題と向き合い、解決に向けて努力する姿が多く見られてきている。また卒業を間近にし、社会人として働く意識が少しずつ高まってきた。そのため、これまでの学習から自分が解決可能な目標や手立てを選択肢の中から自分で判断し選択したり、自分で設定したりすることができるようになってきている。

(2) 題材について

本題材は、実習をもとに自分の成長した点や課題を見付け整理し、自己理解を一層深めて、今後の「学校生活の目標」と手立てを決める学習である。高等部の全員による「実習報告会」と、年職業コースによる「卒業に向けて！パワーアップ大作戦」の発表会を設ける。その過程の中で親しい友達と実習を振り返り、具体的な言葉で互いに認め合う機会とすることで、将来の職業生活を送る上での自信につながると考えた。また「学校生活の目標」の達成に向けた手立てを話し合うことで、自分が立てた手立ての他にもいろいろ方法があることを知り、それを参考にした手立てを具体的に決めることで、積極的に自らの課題に向かったり、友達の手立てを考えることが、自分の行動を改める機会になったりできると考え、本題材を設定した。

(3) 指導について

- ・今後の「学校生活の目標」を具体的に設定できるように、実習の自分の成長した点や課題を明確にできるプリントを準備し選択する場を設けたり、一度考えた目標に対して、作業班の担当教師から本人の実態に合った目標設定のアドバイスをもらう場を設定したりする。
- ・実習の達成感を十分に味わい、将来の職業生活を送る上での自信がもてるように、実習の発表会を2回行い、ビデオや「実習のまとめ」(生徒の作成した掲示物)の視覚教材で項目を設けて振り返ることで、具体的な言葉で互いに認め合う学習の場を設定する。
- ・発表者がグループの意見を参考にして、自分の手立てをより具体的な言葉で設定できるように、プリントを工夫したり、手立ての場面を実際に生徒と一緒に演じたりする。

本時の指導にあたっては、以下の点を留意する。

- ・友達の「学校生活の目標」が分かるように、教師が演じたビデオを使って説明する。
- ・友達の手立てを考える際、「場面」や「誰」などの具体的な状況を踏まえて書くことができるように、「朝の会」や「昼休み」などの具体的な選択肢を書いたカードを提示する。

4 指導計画（総時数 26 時間）

| 小題材名 | 主な内容 | 時数 |
|-------------------------------|--|--------------------|
| 実習でパワーアップできたかな？ | 実習中にできた点や褒められた点などを中心に模造紙に「実習のまとめ」として記入する。 日誌や「実習のまとめ」と、実習先からの評価表や実習中のビデオ記録をもとに、目標に対する評価を行う。 実習中に感じた課題や成長した点を整理し、その中から今後の「学校生活の目標」を考え、作業班の教師から意見を聞いて決定する。この際、目標達成に向けた具体的な行動について考える。 | 9 時間 |
| 実習報告会に向けて | 作成した掲示物を使って、報告会の発表練習を行う。 | 2 時間 |
| 実習報告会 | 実習を振り返り、お互いの頑張りを高等部のみんなに発表し、成果を拍手などで認め合う報告会を行う。 報告会の感想を発表し合う。 | 3 時間 |
| 「卒業に向けて！パワーアップ大作戦」 ～発表準備編～ | 「卒業に向けて！パワーアップ大作戦」の発表原稿を作成したり、作業のビデオに合わせて自分の頑張った点を説明したりして、個別に発表練習をする。 | 2 時間 |
| 「卒業に向けて！パワーアップ大作戦」 ～発表編～ | 自分や友達の目標の達成に向けて、具体的な手立てを話し合い、いろいろな手立てを伝え合って、選択する。 | 8 時間 (本時 5,6/8) |
| 「卒業に向けて！パワーアップ大作戦」 ～作戦決定編～ | 自分や友達が考えた手立てをもとに、自分が目標を達成できるように、より具体的な場面での行動やせりふを加えたり、目標の進捗状況を記入する日時を設定したりする。 | 2 時間 |

5 本時の計画（総時数 5, 6 / 8 時間）

(1) 全体の目標

発表者：D、F

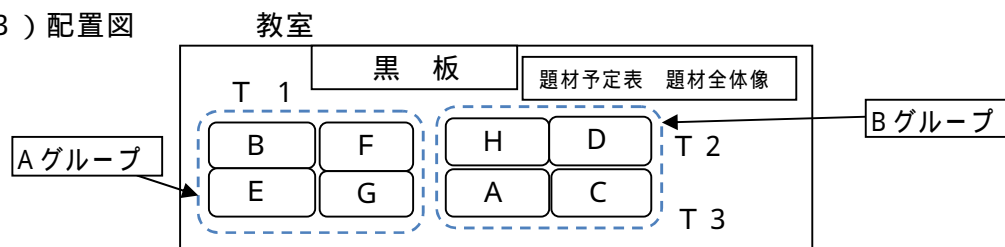
実習で成長した点や褒められた点を作業の様子やビデオを使って具体的に発表する。
自分が参考にしたいと考える手立てを選択し、理由を話したりロールプレイで演示したりする。

聞き手：A、B、C、E、G、H

友達の目標を聞いて、それに対する手立てを自分で考え、付箋紙に書く。

(2) 個別の目標 次のページに記載

(3) 配置図



(4) 学習過程 最後のページに記載

(2) 個別の目標

| 氏名 | 生徒の実態と様子 | 本時の目標 |
|----------|--|--|
| A | <p>指示理解が高く、周りに言葉を掛けて活動するなど、コースのリーダー的存在である。言葉遣いや話を聞く態度などの課題を理解し解決しようと、学校生活で取り組んでいる。</p> <p>介護職の進路を強く希望し、後期実習はデイサービスセンターで行った。「焦らず丁寧に仕事をする」という目標を立てて取り組んだ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の目標についての手立てを「どのように」行い、「どんな言葉で」話すかを具体的に考え、二つ書く。 |
| B | <p>右上下肢にまひがあり、指先の細かい動きは苦手だが、指示を理解し最後まで集中して活動できる。慣れない人と話すことは苦手だが、学年の中では自分の考えを発言できるようになってきた。</p> <p>後期実習は製菓作業がある福祉施設で、「分からないことは質問し、一人で難しい作業で困ったときはお願いする」という目標を立てて取り組んだ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の目標についての手立てを「どのように」行い、「どんな言葉で」話すかを具体的に考え、一つ書く。 |
| C | <p>働くことに関心は高いが、自分の長所や短所を認めたり、就労に向けた学習をしたりすることに苦手意識をもっており、情緒が安定しているときに個別に授業を受けている。</p> <p>後期実習は就労先として希望している食品加工会社で、「1日も休まずに仕事に行く」という目標を立てて取り組んだ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の目標についての手立てを「どのように」行い、「どんな言葉で」話すかを具体的に考え、一つ書く。 |
| D 発表者 | <p>話をよく聞き、周囲の状況を判断して、正確に活動できる。積極的な関わりは苦手だが、環境や人に慣れると、自らコミュニケーションをとり、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。</p> <p>介護職を強く希望し、後期実習はデイサービスセンターで行った。コミュニケーションの力をもっと伸ばしたいと「自分から利用者さんに話し掛ける」という目標を立てて取り組んだ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・実習で成長した点や工夫した点を実習のビデオに沿って発表する。 ・各グループの提案から、自分が参考にしたい手立てを選択し、その理由を発表する。 |
| E | <p>作業能力が高く、見本を示すと正確に活動できるが、自信がない活動は、自分の考えを相手に伝えられず、消極的になる。文字からの情報処理が苦手だが、映像や手本があると内容を理解できる。</p> <p>後期実習は就労先として希望しているクリーニング会社で行った。今回は、「同じミスをしないように、分からないときは担当者に質問する」という目標を立てて取り組んだ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の目標についての手立てを「場面」や「誰に」などの項目を、ビデオや選択肢を参考にし一つ書く。 |
| F 発表者 | <p>手先を使った作業が得意である。文章で表すことで、口頭よりも時間は掛かるが自分の考えを伝えることができる。耳からの指示理解は苦手だが、文字などの視覚情報を介した理解は良い。</p> <p>後期実習は、静かな環境で仕事ができる二か所の福祉施設で行い、進路選択につなげる。今回は、「朝と帰りの挨拶をはっきり言う」という目標を立てて取り組んだ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・実習中に成長した点について原稿を見ながら顔を上げて発表する。 ・自分ができそうな手立てを考えて一つ選び、項目に沿って演じる。 |
| G | <p>どの活動にも工夫して進んで取り組み、積極的に自分の意見を発表できる。マイペースで行動したり、分からないまま返事をしたりする課題を理解し、解決しようと学校生活で取り組んでいる。</p> <p>後期実習は本人の希望で多くの人と関わりながら農作業や清掃などができる福祉施設で行い、「指示が分からない場合は、『はい』と言わずに質問する」という目標を立てて取り組んだ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の目標についての手立てを「場面」や「誰に」などの項目を日常生活場面の言葉で表し、一つ書く。 |
| H | <p>作業能力が高く、指示どおりに活動できる。言葉遣いや集中力などの課題を理解し、解決しようと学校生活で取り組んでいる。未経験のことは、図や絵などで視覚的に示すことで、理解できる。</p> <p>後期実習は卒業後の進路先として考えている二か所の福祉施設で行い、「相手の顔を見て話を最後まで聞く」という目標を立てて取り組んだ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の目標についての手立てを「場面」や「誰に」などの項目を、ビデオや選択肢を参考にし一つ書く。 |

(4) 学習過程

| 時間 (分) | 学習活動 | 本時の目標に関わる指導上の留意点(太枠は事例生徒への本時の目標に関わる指導上の留意点) | | | 準備物 |
|-------------------------------|---|---|--|---|--|
| | | 発表者 : D | 発表者 : F | 聞き手 A、B、C、E、G、H (D、F) | |
| 9:50 (5) | 1 本時のめあて (1) 挨拶する。 (2) 学習内容と本時のめあてを知る。 (3) 席をグループごと(配置図参照)に移動する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてが分かるように、T1が発表者と聞き手のめあてを書いたカードを黒板に提示し、それぞれのめあてを読むように指示する。 ・発表者も聞き手も気をつけるポイントが分かるように、発表の際のポイントを示した模造紙を示し、最後にみんなで評価することを伝える。 | | | めあてのカード 題材表 ホワイトボード |
| 9:55 (6) | 2 発表「卒業に向けて！パワーアップ大作戦」(発表者D) (1) 今回の実習の作業内容や成長した点を発表する。 (2) これからの学校生活の目標を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって発表できるように、発表原稿に目を通す時間を設ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・顔を上げて堂々と発表できるように、発表原稿に「顔の上げ方」「立ち位置」などのポイントをT1が書き加えておく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・E、G、Hに友達の成長した点を具体的に気付かせるために、T2は「Eさんは～できるかな?」と、発表のビデオの内容に合わせてタイミング良く発問する。 | 「実習のまとめ」の模造紙 実習のビデオ |
| 10:01 (26) | (3) 各グループで話し合い 話し合いの仕方、付箋紙に書く際のキーワードなどをおさえる。 キーワードに合わせて、付箋紙に意見を書く。 付箋紙を各自で読みながら順番に1枚ずつ模造紙に張る。 各グループで話し合い、二つにまとめる。 *発表者は自分の意見を考える。 (4) 手立ての選択 各グループから発表する。 参考にしたいと選択した手立てとその理由をDが発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・D及びFが、発表者として話し合いを待つ、または別の発表者の聞き手となって話し合いに加わる時は、「聞き手」側と同じ留意点に配慮する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができそうな手立てを一つ選択できるように、キーワードや具体的な場面のカードごとに学校生活を振り返るように指示する。 ・自分ができそうな手立てを実感として考えられるように、「ロールプレイで試してみよう」とT1が誘い、一、二回一緒に演技する。 ・選択し演技した手立てができていたかどうか分かるように、「Fさんのポイントを意識してできましたね。」と、T1が称賛しながら良かったポイントを指摘する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの手順が分かるように、T1は話し合いをまとめるための手順カードの説明をして司会者に渡す。 ・学校生活を具体的に想定して手立てを考えることができるように、付箋紙を書く際のルールとして「どのように」「どんな言葉で」などのキーワードを示す。 ・E、F、G、Hには、より手立てを考えやすいように必要に応じて更に「朝の会」「昼休み」などの具体的な場面を書いたカードを提示する。 ・E、F、Hが付箋記入に手間取る場合、T2は、教師が発表の目標場面を演じたビデオを手元で見せながら簡潔な言葉で説明する。 ・グループで意見を絞りきれなかったり、手立ての実現性が分からずに混乱したりした場合は、複数のTで「3か月で達成できる?」や「一週間に1回その場面はあるかな?」など、絞り込むポイントに気付かせるような言葉掛けをする。 | 司会カード 付箋紙 模造紙 目標場面のビデオ 選択肢カード タイムタイマー 手順カード 発表見本カード 模造紙 まとめた意見を張る厚紙 |
| 10:27 (5) 10:32 (32) | 【休憩(5分)】 発表者Fに対して、2の活動を繰り返す。 【手立ては2の流れに沿って記載】 | | | | |
| 11:04 (6) 11:10 | 3 本時の振り返り (1) 聞き手の生徒は、発表者が本時のめあてを達成したか発表する。 (2) 挨拶する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全員が本時のめあてを振り返り、友達の良かった点を聞き手が発表できるように、再度ポイントの模造紙をT2が提示し、チェックする。 | | | チェック項目の模造紙 |

生徒Cが授業に参加できない場合は、T3と一緒に個別学習を行う。